数　量　総　括　表

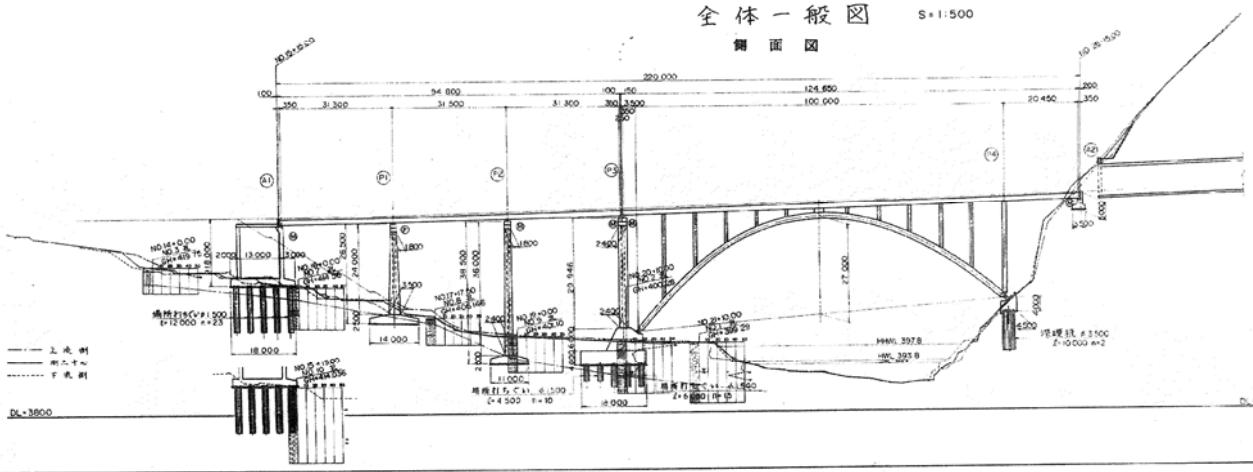
工　種	種　別	計　算　式	単位	数　量
補修詳細設計				
	事前調査　現地踏査		業務	1
	事前調査　基本計画		橋	1
	補修工法選定		橋	1
	床板補修設計		橋	1
	橋面補修設計(防水含む)		橋	1
	伸縮装置補修設計(部分補修)		橋	2
	高欄補修設計		橋	1
	排水装置補修設計		橋	1
	橋梁台帳作成	安庭第二橋	式	1
	打ち合わせ(業務着手時)		回	1
	中間打ち合わせ		回	1
	打ち合わせ(成果品納品時)		回	1
	照査技術者の立会段階確認		回	1
旅費交通費				
	運転費[ライトバン]	現地踏査	回	1
	運転費[ライトバン]	打合せ協議　1(回)＋1(回)+1(回)＝　3	回	3

数　量　総　括　表

工　種	種　別	計　算　式	単位	数　量
一般調査				
	橋梁点検車運転		日	1
安全費(任意)				
	交通誘導警備員B		人・日	2

全体一般図 S=1:500

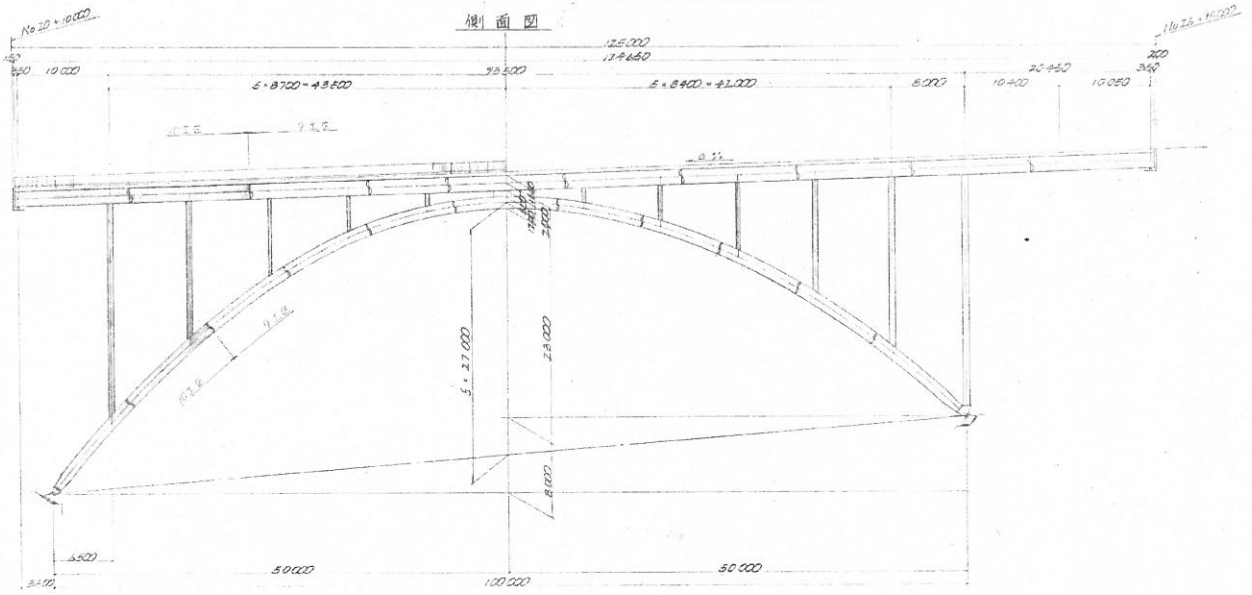
側面図



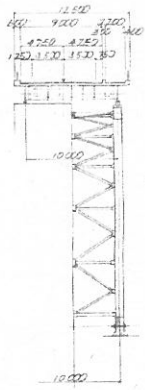
| | | |

上部工構造一般図 S=1:200

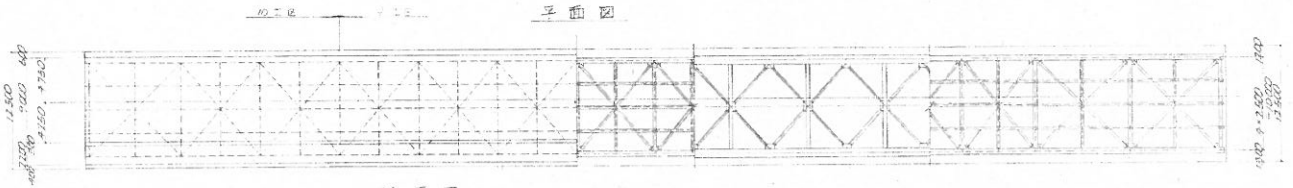
側面図



正面図 S=1:200

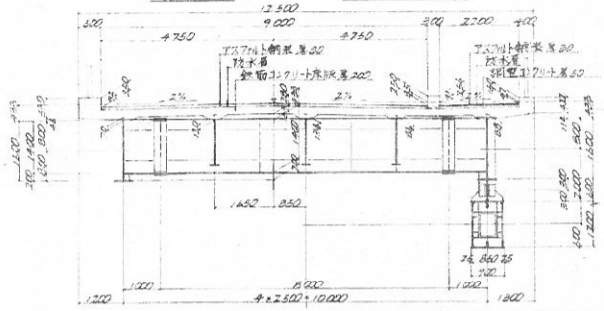


平面図

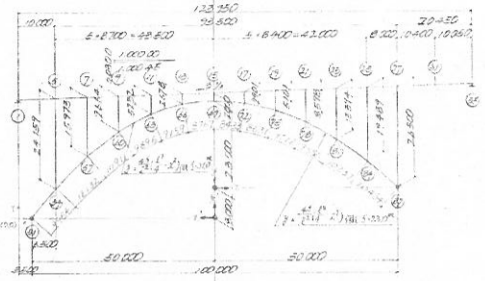


断面図 S=1:50

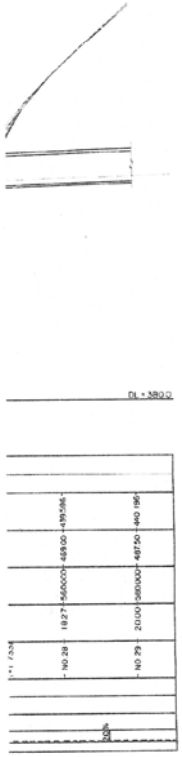
橋座部　　支間中央ヒンジ部

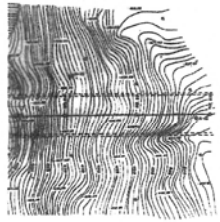


主桁基本寸法図 S=1:200



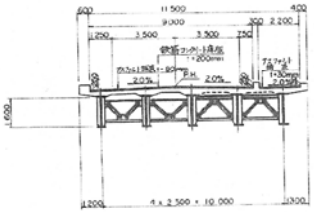
平成 年度							工事
上部工							
一般図							縮尺 1:200
							同左
監督		設計				製図	
図面番号							其中之 号
長野建設事務所							



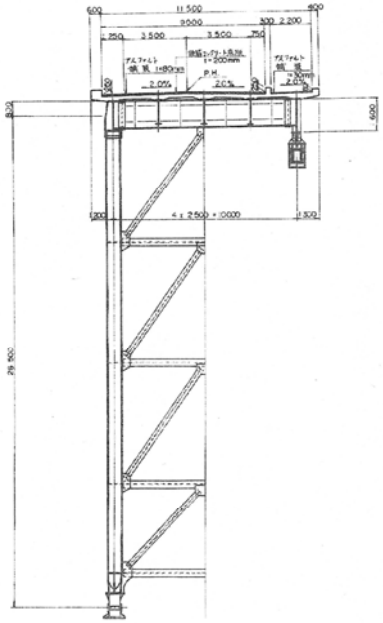


標準 断面図 S=1:100

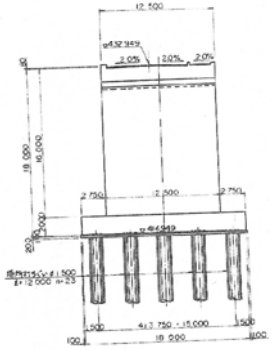
鋼3径間連続鋼箱桁



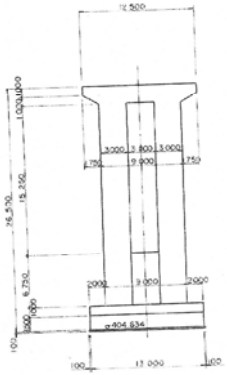
アーチ橋



(A1) NO 15+15.000

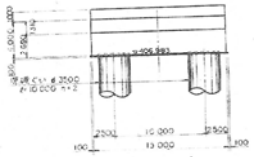


(P1) NO17+6.750



(P2) NO18+18.250

(P4) NO25+14.000

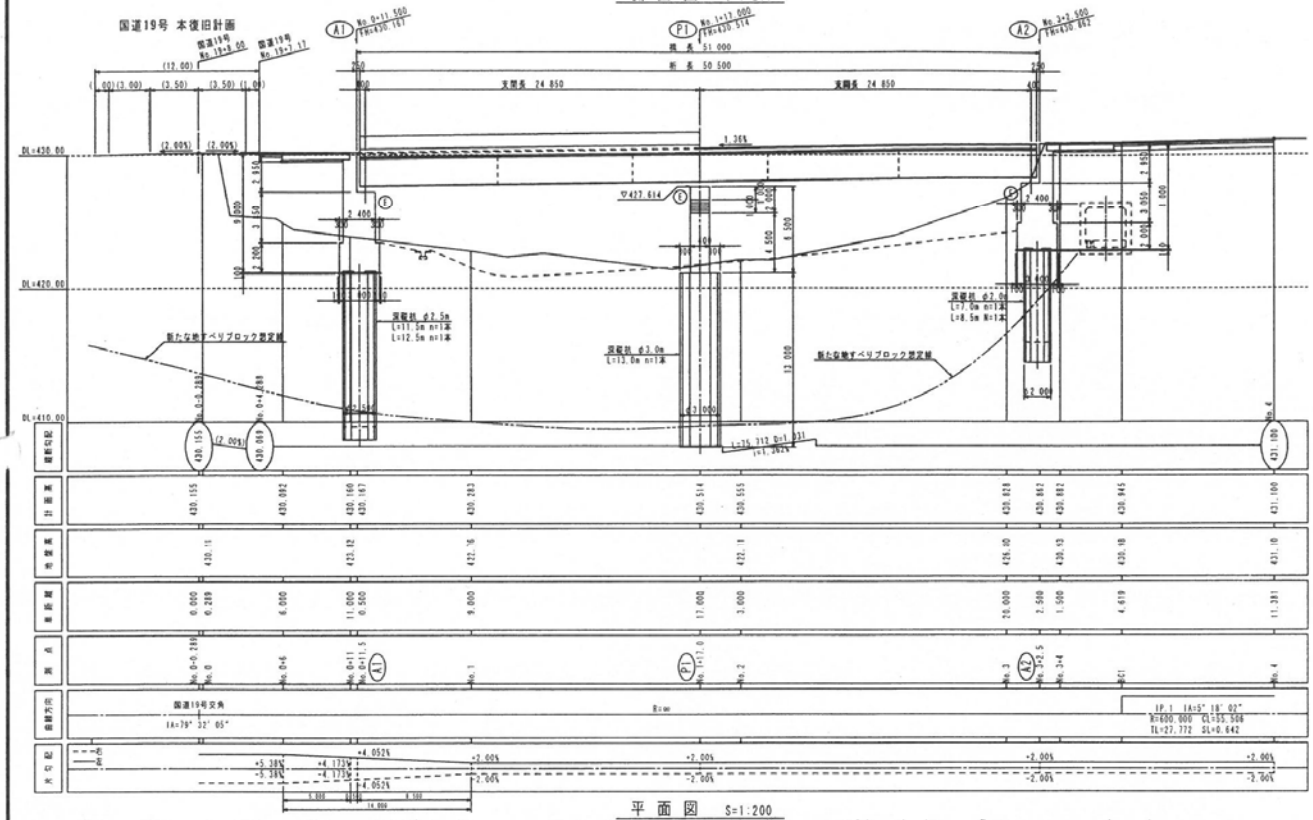


(P3) NC

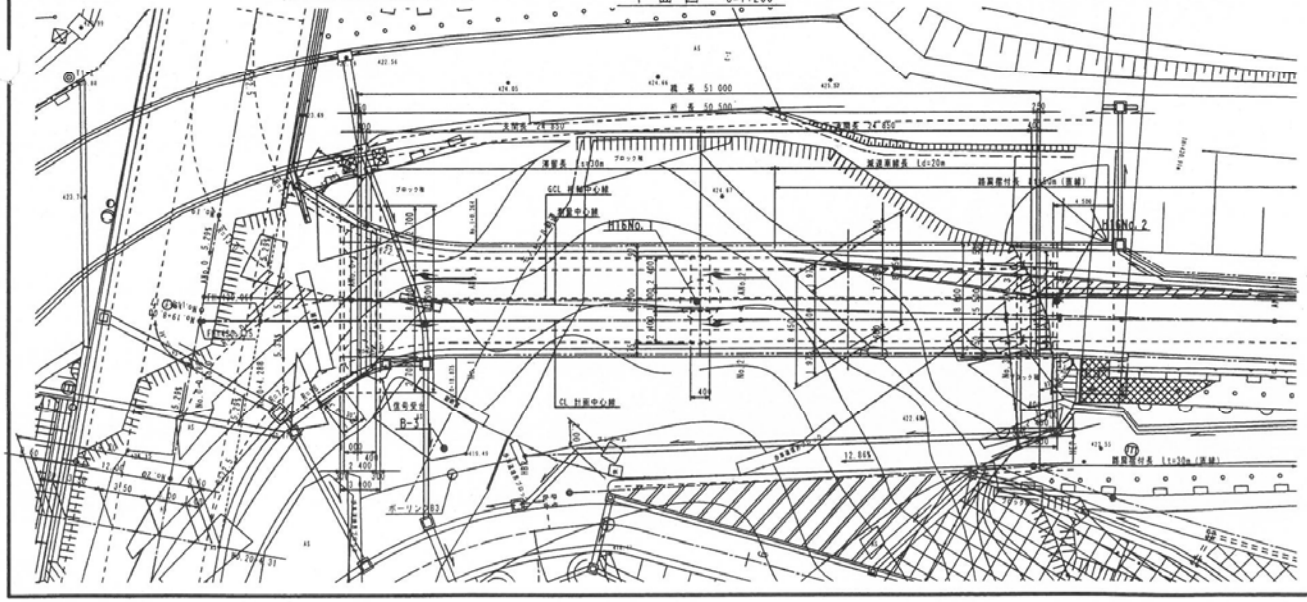
(A2)

ＯＦＦランプ橋　全体一般図

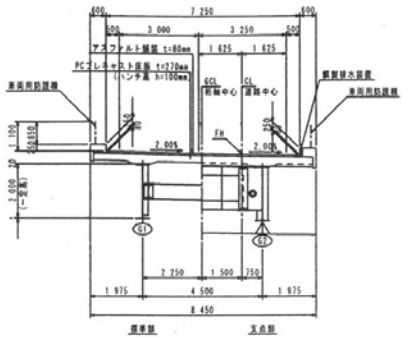
側面図　S=1:200



平面図　S=1:200



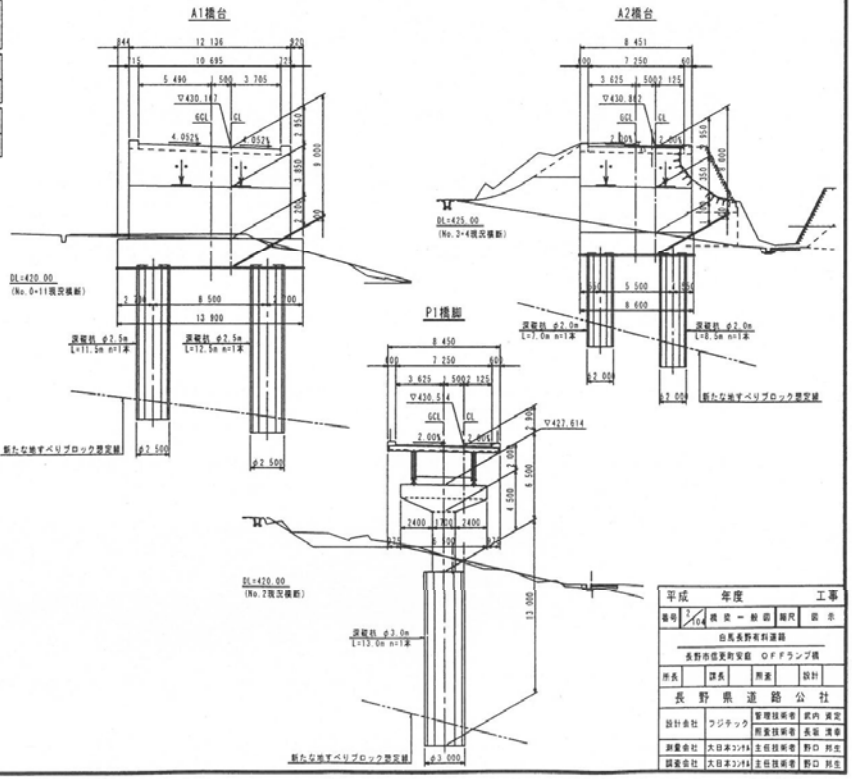
上部工標準断面図　S=1:100



設計条件

路線名		白馬長野有料道路　ＯＦＦランプ
道路規格		Ｂ規格
形式	上部工	鋼２径間連続非合成鈑桁(少主桁)橋（PCプレキャスト床版）
	下部工	逆Ｔ式橋台・張出式橋脚
	基礎工	深礎杭
	支承	免震支承（高減衰積層ゴム支承）
橋長		51.000 m
支間		24.850 + 24.850 m
幅員		0.500 + 3.000 + 3.250 + 0.500 = 7.250 m
平面線形		R=∞（直線）（起点側に国道19号との調切りあり）
斜角		A1:90° 00' 00"　P1:90° 00' 00"　A2:90° 00' 00"
縦断勾配		1.362 %（一定勾配）
横断勾配		±2.000 % ～ ±4.052 %（片勾配）
設計荷重	活荷重	Ｂ活荷重
	雪荷重	1.0 kN/m²
	落屑物荷重	1.0 kN/m（盛土予定なし）　倍号柱 4.4 KN/箇所
	高欄荷重	0.6 kN/m（1列当たり）
衝撃係数		i=20/(50+L)= 0.285
橋面舗装		アスファルト舗装 t=80mm
床版厚		PC床版:t=270mm　ハンチ高:h=100mm
設計震度		レベル１地震動 Kh=0.20　Khg=0.16
		レベル２地震動 Khc=Cs･Cz･Khc,　Khg=Cz･Khg,
交差物件		無落新所
適用示方書		道路橋示方書（平成14年3月）　長野県設計基準（平成13年6月）　他
使用材料	上部工 コンクリート	σ_{ck}= 50.24 N/mm²
	上部工 鋼材	SMA490W, SMA400W, SS400 他
	上部工 鉄筋	SD345
	下部工 コンクリート	σ_{ck}= 24 N/mm²
	下部工 鉄筋	SD345
	基礎工 コンクリート	σ_{ck}= 24 N/mm²
	基礎工 鉄筋	SD345

下部工標準断面図　S=1:200

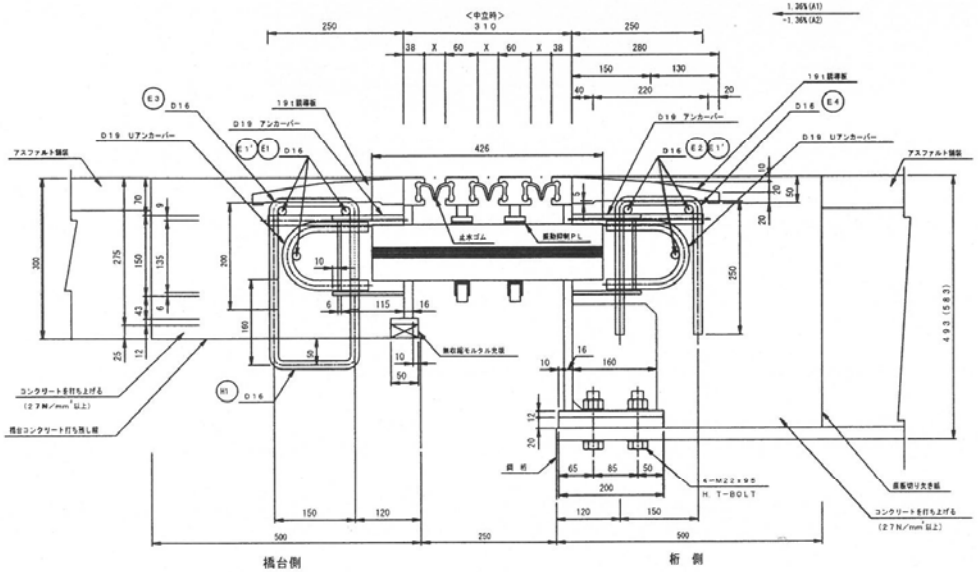


平成　年度			工事		
番号	2/04	構造一般図	縮尺	図示	
白馬長野有料道路					
長野市信更町安庭　ＯＦＦランプ橋					
所長		課長		所属	設計
長野県道路公社					
設計会社	ラジテック	管理技術者	飯内 建宏		
		照査技術者	長谷 清春		
測量会社	大日本コンサル	主任技術者	野口 邦生		
調査会社	大日本コンサル	主任技術者	野口 邦生		

伸縮装置詳細図（3／4）

取付断面図　S=1:5

SLJ21G-A-3　（車道用）



伸縮装置材料表

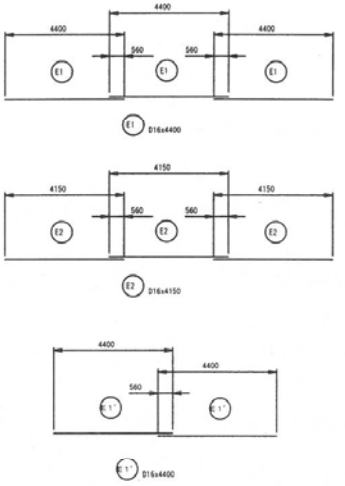
形式	単尺	個数	長さ	重量(kg)	適用
SLJ21G-A-3	12176	1	12m176	3350	A1部
	8452	1	8m452	2360	A2部
		合計	20m628	5710	

形式	寸法	個数	重量(kg)	適用
鉄導板	280×60×16t	84		A1部
		56		A2部

形式	位置		数量(m³)	適用
埋打ちコンクリート (27N/mm²以上)	上部工	A1部	2.35	
		A2部	1.52	
		計	3.87	
	上部工	A1部	2.05	
		A2部	1.42	
		計	3.47	
	合計	A1部	4.40	
		A2部	2.94	
		計	7.34	

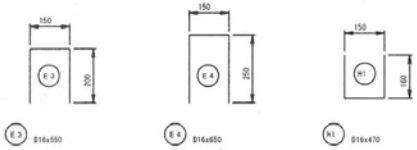
名称	寸法	個数	適用
フィラープレート	500×200×20t	2	A1部
	500×200×20t	2	A2部
セットボルト	M22×95 (F10T)	16	N, 2PW付

補強鉄筋加工図

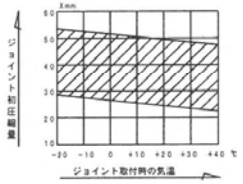


補強鉄筋材料表

適用	寸・法	単重	1本当重量	長物	重量	材質	適用
E1	D16 × 4400	1.560	6.864	9	61.8	SD345	A1部
E1'				12	82.4		A2部
E2	D16 × 4150	〃	6.474	9	58.3	〃	A1部
E3	D16 × 550	〃	0.858	41	35.2	〃	A1部
				27	23.2		A2部
E4	D16 × 650	〃	1.014	37	37.5	〃	A1部
				27	27.4		A2部
H1	D16 × 470	〃	0.723	41	30.1	〃	A1部
				27	19.8		A2部
			総重量		375.7		



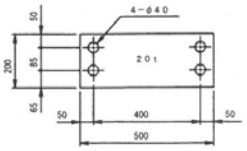
初圧縮量表



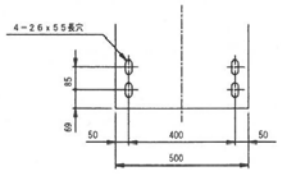
設計条件

	A1 部	A2 部
荷重（1軸当たり）	100kN	
伸縮形長	25.25m	
温度変化	−20°C〜+40°C	
中心基準温度	10°C	
遊間	250mm	250mm
常時移動量	65.3mm	65.3mm
地震時移動量	74.6mm	74.4mm

フィラープレート　S=1:10



主桁穴位置詳細　S=1:10



注）1. X0量は初圧縮量表を参照の事。
2. アンカーバーとE1～H1鉄筋組立部は全て溶接に変更する。
3. 特殊鉄筋は現場手配とする。
4. 伸縮装置本体の塗装処理は、O-1塗装系（エッチングプライマー+タールエポキシ樹脂塗料）とする。

平成　年度					工事
番号	45/104	伸縮装置 詳細図(3/4)	縮尺		図 示
白馬長野有料道路					
長野市信更町安部　OFFランプ橋					
所長		課長		所属	設計
長野県道路公社					
設計会社	フジテック	管理技術者	武内 貴宏		
		照査技術者	長阪 清春		
測量会社	大日本コンサル	主任技術者	野口 邦生		
調査会社	大日本コンサル	主任技術者	野口 邦生		